

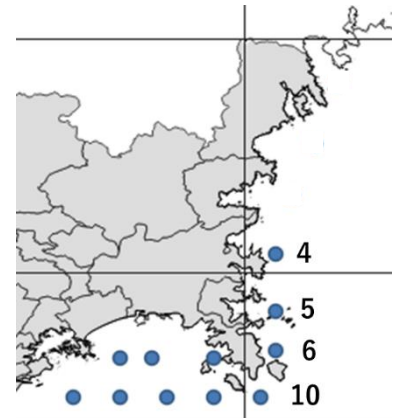
# 令和3年度 牡鹿半島周辺・以北\_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.3)

令和3年6月3日  
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和3年5月31日
- 2 調査地点 右図の4定点
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
  - 1) 水温: 表層で14.9~15.2°Cの範囲にありました。

## 2) 貝毒原因プランクトン出現数

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) は110~430細胞/L確認されました。
- ・下痢性貝毒原因プランクトン *Dinophysis. fortii* 及び *D. acuminata* は0~30細胞/L確認されました。



調査地点図

## 調査結果表(4定点)

St.	日時 水深 (m)	透明度 (m)	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)							
				<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
				5月31日	4月28日	5月31日	4月28日	5月31日	4月28日	5月31日	備考
4	5月31日 10:12 (84)	13.0	15.0	310	260	0	0	0	0	0	
5	5月31日 9:30 (31)	11.0	15.2	110	1,460	10	0	0	0	0	
6	5月31日 8:51 (66)	10.0	15.1	430	290	10	0	10	0	0	
10	5月31日 11:56 (83)	10.0	14.9	330	1,140	30	0	30	0	0	

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水